

MSJ2021-015

2022年6月24日

防衛大臣
岸 信夫 殿

一般社団法人 日本哺乳類学会
理事長 押田龍夫

馬毛島におけるニホンジカをはじめとした哺乳類の保全について
－環境影響評価準備書に関わる要請－

日頃から日本哺乳類学会の活動にご理解をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、馬毛島のニホンジカ（以下、シカという）個体群は、小島嶼で長期にわたって存続してきたという歴史性と島嶼に適応した様々な生物学的特徴を持っています。環境省レッドリストにはニホンジカ（*Cervus nippon*）の「絶滅のおそれのある地域個体群（LP）」、鹿児島県レッドリストには「情報不足（地域個体群）」として掲載されている重要な個体群なので、将来にわたって保存される必要があります。

日本哺乳類学会では、「馬毛島基地（仮称）建設事業に係る環境影響評価準備書」に対し、シカ個体群をはじめとした哺乳類の保全の立場からの意見書（添付資料1）および下記の3項目に関する要望書（添付資料2）を熊本防衛支局長に提出しました。

つきましては、これらの意見書および要望書をご検討の上、環境影響評価の適切な実施、事業の影響の低減と環境の保全措置等について、主務大臣として事業者に対して適切な助言・指導を行い、馬毛島におけるシカ個体群をはじめとした哺乳類の自然状態での長期的・安定的な存続をはかるよう要請いたします。また、基地供用後の馬毛島のニホンジカをはじめとした自然環境保全に関して、基地管理の一環として防衛省の責任において恒久的に取り組まれるよう要望します。

熊本防衛支局長へ提出した要望項目

- 1 準備書に記載された調査結果に関して不備な点を修正し，保全を検討する資料として充実させること。
- 2 シカ個体群保全のため，工事の開始から完成・供用開始，さらにその後の継続的管理に至るシナリオを想定し，モニタリングに基づく柔軟な施策を進めること。またそのための検討会等の体制を整備すること。
- 3 基地建設後の馬毛島における永続的な自然環境の保全と管理は防衛省が行い，そのための体制を整備すること。

(詳細は添付資料2をご参照ください)

- ・添付資料1：馬毛島基地（仮称）建設事業に係る環境影響評価準備書に対する意見書
（日本哺乳類学会 哺乳類保護管理専門委員会）
- ・添付資料2：馬毛島におけるニホンジカをはじめとした哺乳類の保全に関する要望書
－馬毛島基地（仮称）建設事業に係る環境影響評価準備書に関連して－
（日本哺乳類学会）

<連絡先>

浅野 玄（日本哺乳類学会 哺乳類保護管理専門委員会委員長）

〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸 1-1 岐阜大学応用生物科学部（Tel. 058-293-2933）